



(低料第三種郵便物)



2024 年 10 月 発行

社会福祉法人 ありのまま舎
(障害者自立企画)発行責任者 白 江 浩
編 集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1

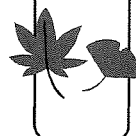
TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976 年 2 月 25 日 第 3 種郵便物認可 (毎週 4 回月・火・木・金曜日発行)
2024 年 10 月 11 日 発行 SSKO 通巻 11742 号

感染症対策、法人感染委員会報告



毎月一回「法人感染対策委員会」を開催し、感染状況の共有と情報分析、今後の対応について話し合いを行っています。毎週仙台市から発表される「仙台市感染症発生動向調査情報」や全国の感染動向を参考にし、コロナウイルスについては急激な患者数の増加はありませんが、インフルエンザが流行する毎年 11 月から法人として感染対応が始まるため、今のタイミングで緩和は難しく、これまで通りの内容で感染対応を続けていきます。

〔現在の感染対応〕通院の時は抗原検査を 2 日間実施。それ以外の外出は制限なし。面会は 1 回 1 時間程度、対象制限なし。〕

またコロナが 5 類に移行したことにより、対応を協議し、一部変更になった部分もあります。

○問診票

より簡潔にしました。現在症状があるか、ないかを中心に記入するようにしました。

○個人防護具

・感染者が出た場合、対応するスタッフの個人防護具を見直しました。目、口、鼻をしっかり防御できることにポイントを絞り、防護衣の着用をなくしました。シミュレーションは引き続き行っています。

○抗原検査

・入居者の通院後の検査、希望スタッフの週 1 回の検査を続けています。毎月、使用数と在庫を確認し、必要な時に必要な数を活用できるようにしています。また検査を行うタイミングもその都度、協議しています。

今後、コロナワクチン接種の希望者の対応も行いながら、入居者、スタッフの体調管理に努めていきたいと思っています。



のりけ
等ブ続
がいドを
うダオン
洗ンシ
手ス
コ
てい

薫る風

能登半島を襲った豪雨による大雨・土砂災害は、テレビを通して見ても心折れそうになる。「またか・・・」。これ以上どうしろというのだ」「珠洲には神も仏もない」とインタビューで仰った方の気持ちは、痛いほど伝わってくる。東日本大震災を経験した人も復旧のさなかの翌月（四月）七日に三月十一日以上の揺れで復旧まじかのライフラインが再び寸断された経験を持つ。この時は津波がなかったのに、それほど大きく報道されなかったが、多くのひとが四月の方が怖かったと語られる。私もそうだった。そして、心折れそうになったのを思い出す。能登の施設の方と電話で話したが「地震の時よりひどい状況がある。自分が住む仮設住宅のすぐそばまで水や土砂が来た」その方は常に前向きなことで話されないので、声を聞くと安心してしまうが、私たちに心配かけまいとする配慮が、むしろ痛々しく感じる。体力も知恵も優れていたと言われるネアンデルタール人ではなく、私たちの祖先ホモサピエンスが生き残したのは、弱いがゆえに言わば無条件に信頼しあい、助け合う他なかったからと言われる。（トゥールースデフォルト）被災後の復興三原則のひとつに「地域社会の持続」がある。言うまでもなく人は助け合わなければ復旧も復興もない。長い時間をかけて築かれてきた信頼のコミュニティがあれば再起できる可能性も、孤立せずに済む可能性も格段に高くなると思う。そうした関係こそが本来のケアの意味だ。生き残るといえるのは、ただ生命を永らえることではない。ケアなしで生きることとは難しい。仮設市街地（仮設のまち）構想がかつて東京都で提案された。ケアコミュニティが崩壊することで災害関連死を生み、孤立化が進む。個々の支援と共に（仮設）コミュニティの構築復興を願う。

(白江浩)

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】 水害訓練を行いました！(9月20日)

令和6年度から自然発生時に
おける業務継続計画(BCP)
の作成が義務化されました。大
地震や水害等の自然災害に備
え、障害福祉サービスの業務継
続のために平時から準備・検討
しておくべきことや発生時の対
応を整理し、また訓練やシミュ
レーションを行うことも明記さ
れています。

今回初めて自立ホームで水害
訓練を行いました。昨年度、ホ
ームの近くを流れる3河川が大
雨時氾濫河川になり、ホームの
周りが浸水地域になりました。
より身近なこととして意識する
ようになりました。避難所は近
くの小中学校になっています
が、入居者の方が避難し生活
を行うのは難しく、太白ありの
ま舎(車で30分)に避難するこ
とを計画に盛り込みました。

7名の入居者と運転手を含め
た必要なケアスタッフの人数を
検討し、必要な車の台数を決
めました。また一番安全なルート
として大きな幹線道路を利用す
ること、入居者の方には数日前
から避難することを前提に必要
な荷物(着替え、薬、補助具、
スマホなど)をそれぞれ準備し
ていただきました。それらを含
めた3日前からのタイムライン

を作成し、訓練に臨みました。

◆ 当日は朝から大雨となり、本
番に近い状況の中での訓練とな
りました。

9時に避難先の太白ありのま
ま舎と連絡を取り合い、避難の
決定を行い、一斉放送で入居者
へ周知し、荷物を持って談話室
に集まりました。同時にスタッ
フが車の準備を行い、車に乗る
順番に誘導を行いました。雨の
中、車に乗る動作に時間がかか
り、特に車椅子の方の誘導は大
変であると感じました。その後
大きな道路を通り太白ありのま
ま舎に到着することができまし
た。運転するスタッフも雨の中
の運転は緊張したという声も聞
かれました。



雨の中、車への移動は思ったより時間
がかかりました。

入居者全員が一度に移動する
機会はこれまでなかったため、
経験することで様々な気づき
がありました。また太白ありのま
ま舎に避難してから西多賀地域
の安全が確保されるまでどれく
らい日数がかかるのか、その時
の状況によって違いがあり、ケ
アスタッフの配置、食事等の準
備、受入れ先との調整など検討
することが必要です。

今回の気づきや反省点を元に
BCPを見直し、さらに訓練を
重ねていきたいと思っています。
(佐藤 環)



無事に太白ありのまま舎に到着



茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

東北大学医学部医学科一年次
「早期医療体験実習」学外医
療施設実習受け入れ

この実習は医学科の新入生が
医療の現場に触れることで、利
用者の状態、チーム医療の実際
医療を取り巻く社会状況などに
ついて理解を深めることを目的
とし、実習を通して、利用者の
状態への配慮、利用者や医療チ
ームとのコミュニケーション、
チーム医療の実際、医療人とし
てのプロフェッショナルリズム、
医療安全などを現場で体験し、
医師となるための心構えを構築
するものです。毎年太白ありのま
ま舎で受け入れを行っています。

大学病院での実習に加えて、
一般病院・クリニック・各種医
療施設・社会福祉施設での実習
を対象としており、医療を取り
巻く状況について多くのことを
学んで頂く機会と位置付けられ
ています。

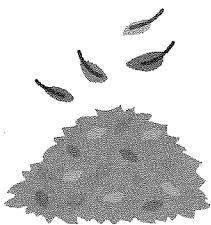
太白ありのまま舎において、
10月4日(水)2名、10月11日
(水)1名の実習の受け入れを
行いました。

太白ありのまま舎での実習内
容は、施設長の講話、医師の講

話、入居者とのコミュニケーション、食事等の様子、各セクシ
ョンスタッフの入居者への関わ
り方や連携などを学んで頂きま
した。実習生も真剣な様子で取
り組まれており、積極的に入居
者とのコミュニケーションをと
っている様子が見られました。

実習生からは「将来の臨床実
践や患者さんとの関わりにおい
て、貴重な経験になった。」や
「医療の場においてチーム医療
が必要不可欠であり、病状も多
種多様であるため、お互いに協
力し合い、柔軟に対応すること
の大事さと医師としての責任、
役割の重要さを知った。」「将
来の医師としてのキャリアにお
いて患者中心のアプローチの重
要性を深く理解するのに役立つ
た。コミュニケーションスキル
などを向上させ、より効果的な
医療提供者として成長したい。」
など話されており、良い体験実
習の機会になりました。

(鹿野和彦)



【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】 【栄養マネジメント】

今年の4月から栄養士として入職し、半年ほどが経ちました。厨房での業務を中心に働き始めて、初めに給食の選択食の多さに驚きました。以前働いていた高齢者施設では、厨房スタッフが大変だからという理由で選択食はなく、行事食が二カ月に一度ある程度でした。太白ありのまま舎では、好きなメニューを選べる選択食を毎週二回、デザートバイキングを毎月一回実施しています。外出の機会の少ない入居者の皆さんにとって、食事が日々の楽しみや季節を感じられるものになるように、入居者ファーストの思いで取り組んでいきたいです。

また、少しずつ他セクションの動きもみえてきたことで、食事は栄養部門だけで出しているわけではないのだと改めて実感しました。日々入居者の皆さんと関わり食事介助をしているケアスタッフ、摂食嚥下や障がい特性の面からみているアクト・リハビリスタッフ、メディカルスタッフなど、各職種がそれぞれの視点から食事について考えることで、適切な食事内容や提供方法で食事を出せるのだと学びました。多職種との連携を大事にして安心・安全な食事を提供していきたいです。(佐藤星)

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

保育園は少し小高い地域に位置し、朝晩の寒暖差が大きく、先月から紅葉が始まっている箇所もありましたが、更に秋が深まってきたなと感じるこの頃。お散歩も心地良く、自然の変化を発見しながら歩くことが楽しい季節です。

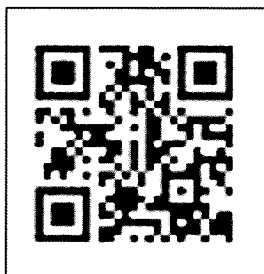
子どもたちはどんぐりや松ぼっくり、大きな葉っぱ等に興味津々。自然が多い地域なので、少し離れた場所へ散歩に行くと普段と違ったどんぐりを発見することもでき、毎日が宝探しのようです。一番身近にあり、よく見つけるのが、コナラのどんぐりですね。子どもたちは帽子がついているものが、やはり珍しく嬉しいようで、帽子付きのものや帽子だけを集めたり。私たちと一緒に夢中になってしまっています。ヽ



お月見会後にすすき探しに出かけました♪

【ありのまま舎ホームページのご紹介】

当舎ホームページのQRコードです。各事業所の施設紹介を掲載しています。また会報「自立」の場バックナンバー、出版物の紹介、ご支援いただきたい内容、求人情報等も掲載しています。ぜひご利用ください。



また違う種類のマテバシイのどんぐりは大きく細長い実で、見つけると、子どもたちは大喜び。マテバシイのどんぐりは、熟すまでに二年かかるので、今年は実がならず残念でしたが、今年はいっぺり大きなどんぐりが実っていたので、散歩に行くのが楽しみです。クヌギの木も少し離れた公園にあるので、今年はいっぺり大きなどんぐりも探しに行きたいとワクワクしています。(春日麻里)

名取エリア

【サポーターケア名取ありのまま舎
【難病・障害者相談支援センター】
8月から採用となりました木村と申します。自己紹介を兼ねて、いつも利用者の方へインタビューさせていただいている質問に答えていきたいと思っています。

① マイブームについて
最近、秋の味覚として芋や栗かぼちゃを使用したスイーツがたくさん出ていて、それを買ってストックすることにハマっています。特に私はアイスクリームが好きなので、モンブラン味やお芋のフレーバーが謳われているとつい手に取り購入してしまいます。

② ほっとする時間
仕事を終えて、夕食を食べた後に好きなアニメを観ている時間がほっとします。また、時々祖父母宅に行くことがあるのですが、おばあちゃんの料理を食べる時、ほっこりした気分になり、落ち着きます。

③ 今後の希望について
相談員として働かせていただくのは初めてで、まだまだ覚えなければならぬことがたくさんありますが、先輩相談員が働く様子をしっかりと見て学び、実践していけるよう頑張りたいと思います。

(木村ほのか)

在宅介護を応援します!!

ケーアイ調剤薬局

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1丁目34-16

Tel・Fax 022-743-3161

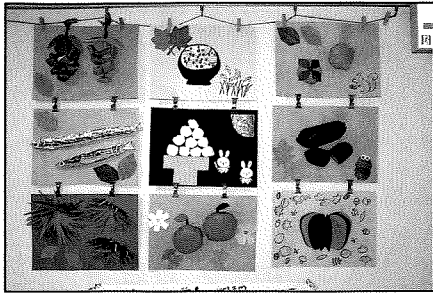
巨理エリア

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎】

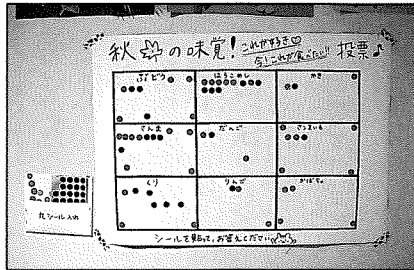
【ケア】

昨年の7月にケアスタッフからアクティヴィティへ異動し、早いもので一年が過ぎました。日々通所される利用者に元気をもらい、過ごしている日々です。日中活動では、季節に合わせ作成する事が多くあり、夏は、コップで、風鈴を作成し、今回「秋」をテーマに、みんなのホールには、トンボやコスモス等利用と作成し壁に貼り、季節感を感じて過ごす日々です。

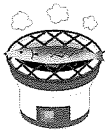
また、事務所前には「秋の味覚、これが食べたい今、これが食べたい」として通所者・入居者に投票を行いました。作品の中には、「サンマ」「かぼちゃ」「ぶどう」「巨理町郷土料理の「はらこめし」」等を折り紙やお花紙



壁に貼られた秋の風景



「どれが今一番食べたいですか」
1位サンマ 2位はらこめし 3位ぶどう・くり
皆さんにシールを貼って投票いただきました！



で作成し、日中活動の利用者と作成し事務所前の壁にスペースに張り付け投票を行いました。自然と足を止め、作成した作品を見ている様子を見て嬉しく思います。声掛けし、「どれが今一番食べたいですか」と伺うと皆さん思い思いにシールで、投票する姿が見受けられました。

一番人気はサンマの12票でした。2位は1票の差で、巨理町の郷土料理「はらこめし」11票でした。同率3位で「ぶどう」と「くり」の8票でした。「どれも美味しいよね」と沢山の声を頂きました。

今後も日中活動を通し、季節感のある作成を行っていかれたらと思います。(日下裕子)

【サポートケア県南ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

8月、およそ10年に渡り当事業所を利用頂いた利用者が尊い命を亡くされました。

当時県外の病院を退院し実家のある地域により近いところで医療サポートを中心に必要な支援の環境を組み立て生活の再構築を支援チームでおこなっていかくものに委託相談支援事業所として加わらせていただきました。本人にとっては実家のある宮城県とは言え、ゆかりのない岩沼市での生活の再構築であり、知らない支援者が何人も顔を並べて定期的にケア会議をおこなっていたので大きな不安との向き合いだったものと、当事者の表情なども含め思い出されます。

本人が強く希望していた福祉的就労の場につながりたりする中で、生活の形を少しずつ前向きに変え歩んできていました。ただ、その間も気持ちの揺れ動きがある中でお話を伺う機会も多くありました。結果として十分にサポート役を果たすことができない結果となったことがとても悔やまれます。

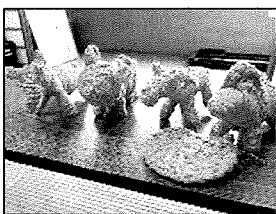
逝去後、岩沼市社会福祉課より精神科医による支援者の心のケアの場面設定をいただきました。当事業所だけでなく他の支援者にとっても大きな拠り所になったと思います。合掌。

(齋藤栄樹)

【サポートケア巨理ありのまま舎基幹相談支援センター】

基幹相談支援センターでは週1回、巨理町の委託事業で精神障害者向けコミュニケーションサロンを開催しています。サロンは自宅以外でゆっくり過ごせる場所の提供を目的にしているため、普段は利用者が自由に過ごせるよう活動内容は決まっておられません。今回巨理町地域おこし協力隊のお誘いがあり、8月22日(木)午後には「ほじける馬っこプロジェクト」というワークショップを開催いたしました。

巨理町では昔お盆の時期になると七夕馬というものを稲わら等で作って飾る風習があったそうです。今回のプロジェクトはこの七夕馬を災害非常時に活用できるテトロン(ポリエステル)糸を使って作るというものです。災害非常時にはこの糸を解き編み直すことで防寒具やロープ等に変化でき、役立つとのことでした。ワークショップ参加者の中には編み物が得意な方もおり、みんなそれぞれの可愛い七夕馬ができました。(佐藤香織)



テトロン糸で作った七夕馬

レンタカー・カーリースのご用命は

トヨタレンタリース宮城

本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100

リース支援室 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

本	店	022-224-0100	卸	店	022-237-0100	仙	台	空	港	店	0223-22-0100	新	幹	線	くりこま	高	原	駅	前	店	0228-21-2100						
交	通	局	前	店	022-221-0100	高	砂	店	022-254-0100	名	取	駅	前	店	022-381-0100	石	巻	駅	前	店	0225-21-7007						
仙	台	駅	西	口	店	022-213-0100	鹿	野	2	8	6	店	022-246-0100	新	幹	線	白石	蔵	王	駅	前	店	0224-22-0252	石	巻	店	0225-22-0100
仙	台	駅	東	口	店	022-293-0100	泉	中央	駅	前	店	022-372-0100	新	幹	線	古	川	駅	前	店	0229-23-0100	友	仙	沼	店	0226-22-0100	

新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)



その他ウェルキャブもラインナップしております。

連載

ありのまま舎書籍紹介③

今月号より在庫数の関係で、1冊500円の割引価格で販売させていただく書籍をご紹介します。尚、送料は1冊210円です。(10月1日より郵便送料の変更により)



詩集「2002 車椅子の青春」
編集 ありのまま舎

「新・車椅子の青春」出版から18年。再び、詩集が蘇りました。1部は「ありのまま記録大賞」に応募された作品の中から選ばれたものを収録。第2部は全国の難病の仲間呼びかけ集まった詩を収録。全国の難病患者的声を社会に伝えました。

(題字・表紙絵 石坂浩二)
(定価 1,600円)



詩集「新・車椅子の青春」
編集 ありのまま舎
詩集編集委員会

1971年1月に詩集「車椅子の青春」が自費出版され大きな反響がありました。その後続編が出版され、「新・車椅子の青春」は3冊目の詩集です。全国の筋ジストロフィー患者81人101編の詩が収められています。

(題字・森繁久彌)
(定価 1,000円)

8、9月号に掲載した贈呈本「愛と孤独と詩」・対談集「見えなく感じず全身つごかず」「生命のキャッチボール」「魂しずめの詩」もご注文可能です。(この4冊は送料のみです)

【お申込み】ご希望の方は、電話、FAX、郵便またはメールにてお受けいたします。

下記の内容を記載の上、ありのまま舎宛にご注文ください。

1. ご住所
2. お名前
3. ご連絡先(電話・携帯など)
4. お申込み内容(書籍名と冊数)

◆送料 1冊210円。スマートレターでお送りします。(3冊以上は要相談)

◆お支払い 本と一緒に郵便振替用紙を同封いたします。

24
8/30~9/26

ありのまま舎後援会(敬称略)

【2024年 賛助会費】

全国からたくさんのご支援に感謝申し上げます。
(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

8月分の売上の一部を寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,768円

ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎)

10,581円

後援会員を募集

しています!

年々会員の方が減少しています。後援会員としてありのまま舎活動を応援しませんか。

【年会費】

・法人 20,000円

・個人 10,000円

・賛助 3,000円

◆途中退会も可能です。

「支援頂きありがとうございました(敬称略)」

【書損じはがき等】

【バザー提供】

24 8/29 5/28

10月1日より郵便料金が変わりました。未使用の古い切手等がありましたらご提供いただければ幸いです。通信費の一部として活用したく思います。



【ボトルカンパ】

24 8/28 5/27

ウジエスパー西多賀店

(太白区) 27, 131円

自立ホームの入居者・スタッフのみならず、西多賀地域の老若男女の皆様にとりまして大変身近で心強い存在のお店です。

(鈴木一彦)

【バザー開催日のご案内】

《2024年11月》

5日(火) コークベニマル鉤取店

7日(木) ヨークマルシェ大和町店

12日(火) ヨークベニマル南吉成店

14日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

19日(火) ヤマザワ茂庭店

26日(火) 袋原(向日葵ライフ

サポートセンター)

28日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

30日(土) ありのままショップセール

(仙台ありのまま舎)

「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報發送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台東教会と仙台東一番丁教会の皆様にご協力をお願いしました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道)など、基本的な感染対策を講じながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

感染対策の為、ヴォランティアの皆様にはご不便をおかけしております。こちらの都合で日程の変更をお願いすることがある中、わざわざ取りに来てくださる方もいらつしやう、大変助かりました。本当にありがとうございました。(遠藤寿子)

24 7/10 5/31

「ありのまま舎運営協力寄付金」(敬称略)